（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信飛トレイルを通じた地域活性化のためのガイドツアー造成・実施事業
事業主体 （連絡先）	一般社団法人　信飛トレイルクラブ　（0263-93-2746）
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大（ア 特色ある観光地づくり）
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,019,881 円（うち支援金：3,007,000　円）

事 業 内 容

本事業では、信飛トレイルの魅力を向上させ、地域活性化を促進するためのガイドツアー造成と実施を行った。

【ツアー造成】 ①ランスルーツアー:ガイド及び地域関係者と 2 回実施し、ルートの安全性確認と魅力の洗い出しを実施 ②WEB サイト整備:既存サイトを改良し、ツアー予約機能や多言語対応を実装③ガイドマップ作成:松本市側区間を網羅したマップを 500 部作成

【ツアー実施】 9 月から 11 月に、日帰りハイク・サイクリング・トレイルランニング各 2 回、一泊二日ハイクツアー2 回の計 8 回を実施（内 2 回雨天中止）。

島々明神線の通行止めに柔軟に対応し、持続可能な観光モデルの基盤を確立した。

【1 泊２日ガイドツアーの様子】

【目標・ねらい】

①ガイドツアー事業の基盤確立
②地域経済の活性化
③持続可能なエコツーリズムの推進

事 業 効 果

① ガイドツアー事業の基盤確立
4 種類のツアーを造成し、WEB サイトとマップを整備。5 回のツアーを実施し、利用者 6 人を受け入れた。

② 地域経済の活性化
ツアー収入 11 万円を獲得し、地域ガイド 5 人を雇用。15 の地域店舗・施設と連携した。

③ 持続可能なエコツーリズムの推進
トレイル保全活動や清掃を実施し、公共交通機関利用を促進。
マイボトル持参啓発により、環境負荷を抑制した。

※自己評価【　B　】

【理由】
WEB サイトの整備と MAP 作成・販売で信飛トレイルの認知向上と観光客誘致には一定の効果があったものと思われる。一方、ツアー参加者数が目標（24 人）を下回り、ガイドツアーが想定よりも小規模な実施となったため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。（今後の事業展開、取組の継続に向けた財源確保など）。

令和 8 年度は 33 回、令和 9 年度は 50 回のツアー実施を目標とし、参加者を段階的に拡大する。旅行会社との連携強化、SNS や WEB サイトを活用した広報により集客力を向上させる。ガイドマップ販売に加え、オリジナルグッズを作成・販売することで財源確保を図り、事業の自立化を推進する。小中学生向けのガイドツアーを実施し、次世代への環境教育と地域文化の継承を促進する。ガイド人材の育成・確保を継続し、地域店舗との連携を深化させることで観光消費を拡大する。広域連携の成功事例として他地域へのモデル展開を目指し、持続可能な観光地づくりに貢献する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある